弘前市市民参加型まちづくり1%システム採択事業

第3回
未来をつくるナラティブcafe@ひろさき

障がいと共にいきる
あなたなら、どこでどのように暮らしたいですか？

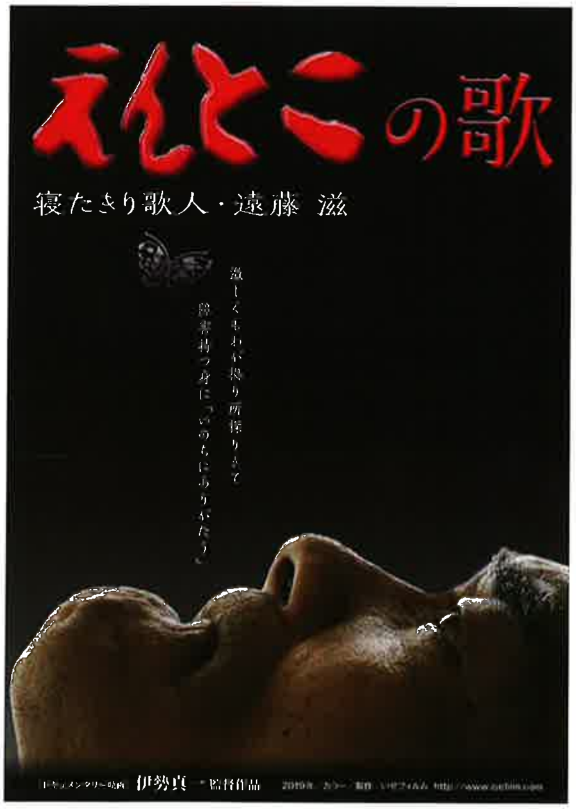
人々の暮らしをテーマにしたドキュメンタリー映画を鑑賞し、
その内容を「自分事」として考え、意見交換ができるカフェ形式のワークショップです。
地域の皆さんと医療や福祉の専門職とが一緒になって話し合うことで、
疑問や困りごとなどを専門職に橋渡しできるような、つながりの場を提供します。

日時 3月7日（土）13：30～16：30
（開場13：00）

会場 弘前医療福祉大学　4階 セミナーホール
弘前市小比内3丁目18-1（オフィス･アルカディア内　健生病院そば）
・弘南鉄道弘南線　運動公園前駅から徒歩3分　・駐車場もございます。

定員 70名（先着順）　事前申込みが必要です　**参加費 無料**

上映映画 えんとこの歌　寝たきり歌人・遠藤 滋　（詳細は裏面をご覧ください）



対象
- この映画をご覧になりたい方
- 障がいがある方とご家族
- ボランティアに関心のある方
- 障害者支援施設で働いている方
- 医療や福祉専門職、学生　など

お申込み

①申込み専用フォーム
QRコードかURLよりアクセスください。
https://ssl.form-mailer.jp/fms/df121bea650780

②電話　080-3742-1908（担当 木村）
※17時以降にお願いいたします。

Facebook「ひろさきナラティブnet」の
ページからも申し込めます。

主催　ひろさきナラティブ.net
後援 弘前医療福祉大学/弘前医療福祉大学短期大学部

自分の足で歩こうという 思いを諦めない遠藤のように 私は生きようとしているだろうか

1999年に完成させた映画『えんとこ』は、脳性マヒで寝たきり生活を強いられながら介助者たちの力を借りて生きる学生時代の友人、遠藤滋の日々を3年間にわたって追ったドキュメンタリーだった。

《恐ろしき事件ならずや十九人
元職員に刺殺さるとは》

2017年、夏。神奈川県相模原市で起きた、障がい者大量殺人事件を知ったとき、すぐに思い出したのは遠藤のことだった。無性に遠藤に逢いたくなり、『えんとこ』を再び訪れた。20年近くの時間を経て、遠藤の障がいは進行し、喋ることも、食べることも、困難になっていた。

しかし一方で、50代後半から遠藤は短歌を詠むようになり、心の叫びを言葉に託す日々を送っていた。

《足熱し身体も熱し痛し苦し
かく叫びいて今日も明けゆく》

ベッドに横たわりながら、進行する障がいの苦しみが歌われ、同時に70歳を越えて生き生きと人生を謳歌する悦びも歌われてきた。

《手も足も動かぬ身にていまさらに
何をせむとや恋の告白》

遠藤の寝たきりの日々は35年。『えんとこ』にカメラが入り、ベッドサイドでただただ遠藤と介助者たちとの日々を記録しつづけて25年あまりの歳月が流れた。その介助の日々は、心の交流のドキュメントでもあった。

ありのままのいのちを生かし合いながら生きる・・・ということ。

（かんとく・伊勢真一）

出演 ――― 遠藤滋 「結・えんとこ」介助者のみなさん
短歌朗読 ―― 友部 正人
撮影 ――― 石倉 隆二 宮田 八郎 安井 洋一郎
録音 ――― 永峯 康弘 井上 久美子
音響構成 ―― 米山 靖
編集 ――― 尾尻 弘一
テーマ曲 ―― 『不屈の民』 編曲 横内 丙午
演奏 ――― 谷ぐち 順 豊原 雄大 藤原 亮
宣伝デザイン ― 森岡 寛貴（ジオングラフィック） 遠藤 郁美
上映デスク ― 鷲見 真弓 今井 亜矢子
協力 ――― 伊勢 朋矢 矢吹寿秀 福島広明
あけび短歌会 大津留 直
制作協力 ―― クロスフィット ハチプロダクション 一隅社
上映協力 ―― エーザイ株式会社
企画製作 ―― いせフィルム
演出 ――― 伊勢 真一

遠藤 滋（えんどう しげる）

1947年静岡生まれ。1歳の頃脳性マヒと診断される。障がいを引き受けながら、自ら「えんとこ」を組織し介助者たちの力を借りて自立生活を続けている。東京・世田谷のアパートの一室、「えんとこ」のベッドの上から、社会や自分自身を凝視するその眼差しで、50代から短歌を詠み始める。「えんとこ」は遠藤滋のいるところであり、縁のあるところ。いのちを生かし合う居場所である。著書「だから人間なんだ」他。

伊勢 真一（いせ しんいち）

ドキュメンタリー映像作家。1949年東京生まれ。遠藤滋とは学生時代の友人である。『奈緒ちゃん』（1995年）、『えんとこ』（1999年）、『風のかたち』（2009年）、『大丈夫。』（2011年）、『妻の病』（2014年）、『ゆめのほとり』（2015年）、『いのちのかたち』（2016年）、『やさしくなあに』（2017年）他のヒューマンドキュメンタリーを製作。本作は映画『えんとこ』から20年を経た続編である。

【お問合せ】いせフィルム www.isefilm.com
〒150-0002 渋谷区渋谷1-9-4 トーカン渋谷キャステール406（2018年4月より住所が変更になりました）
TEL：03-3406-9455 FAX：03-3406-9460 E-mail：ise-film@rio.odn.ne.jp

〈お問い合わせ先〉
ひろさきナラティブ.net（代表 木村匡宏）✉hirosakinarrative@gmail.com